

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	外国語 英語
----	--------

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
2 東 書	英語 701 英語 801 英語 901	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校5・6年採択教科書と同社であるため、教科書の全体構成や紙面デザインに関連性があり、安心して学習に取り組める。小学校との連携を踏まえた4月当初の指導（be 動詞・一般動詞・can）に適している。 ・ 小学校教科書と同じ書体が1年生の教科書で使用されているため、抵抗感がない。 ・ 絶滅危惧種、英語落語、食文化など、話題が多岐にわたった内容になっており、思考を深めやすく、生徒の興味・関心を引く内容となっている。 ・ 文章量が多く語彙も増えており「読む」力をつけるには適しているが、英語の苦手な生徒には少し難易度が高い。 ・ ユニットの扉には、単元全体の本文を「聞く」ことから始めており、英語のQ&Aがあるので使いやすい。音声で単元の内容をイメージしやすい。 ・ New words が各ページの横の端一か所にまとめてあって見やすい。 ・ Key Sentence で基本文を確認し、Practice へとつながり、指導しやすい。Practice の内容は本文と関連しているので生徒にもわかりやすい。 ・ 3年生の集大成としてディベートがあり、興味を引く。 ・ サイズがA4で、写真や絵がバランスよく配置されているなど、レイアウトに工夫があって見やすい。

<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">開隆堂</p>	<p>英語 702</p> <p>英語 802</p> <p>英語 902</p>	<p>SUNSHINE ENGLISH COURSE 1</p> <p>SUNSHINE ENGLISH COURSE 2</p> <p>SUNSHINE ENGLISH COURSE 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で学んだことがわかりやすく、振り返りのページも多くあるため、小中連携の部分では非常によい。Small talk のコーナー「Try」は、効率よく小学校で学んだ語彙の復習ができる。 ・ 文法事項の次がリーディングなので、見やすくわかりやすい。 ・ 各 Program に、 <ol style="list-style-type: none"> ① Scenes 新しい表現を学ぶ ② Think 題材内容について考える ③ Retell 本文内容を再現 ④ Interact 自己表現 となっており、構成バランスがよい。全体の構成が無理なく進められる流れになっている。 ・ 自国の文化や、歴史的な出来事と他国との関係をリンクさせた話題が多く、生徒が興味・関心をもちやすい内容となっている。 ・ 題材の内容が盛りだくさんになっており、様々な活動を取り入れることが難しい。 ・ Scenes の 2 コマまんがは内容がわからなくても絵で理解できるので、英語が苦手な生徒もとりかかりやすく、文法のポイントも学びやすい。 ・ 新出文法事項を Dialogue の中で扱っているので使いやすい。 ・ Think(Read)のページに Q&A があるのは、英問英答の練習になり、思考力が身につく。 ・ レイアウトはシンプルでよいが、本文以外の文字が小さく読みづらい。 ・ be 動詞、一般動詞を分けてあり文法を教える配列もわかりやすい。 ・ Our Project では生徒自身が考えて学習でき、協働学習が進めやすい。 ・ キーセンテンスの説明がわかりづらい。 ・ 2年生での「現在完了」は、難しい。
---	---	--	---

<p>15 三省堂</p>	<p>英語 703 英語 803 英語 903</p>	<p>NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き1ページに、文法、長文、リスニング、会話練習等がコンパクトにまとめてあり、授業の流れがつかみやすいので使いやすく、習得から活用へという学びのプロセスがわかりやすい。 ・レイアウトも含め、教科書全体の流れがパターン化しているので、生徒にとってわかりやすい。 ・生徒の知的好奇心や、興味関心、発達段階に合わせた題材に応じた、興味深い写真が多いので導入時に役立つ。考えを広げたり深めたりしやすい内容になっている。 ・題材の内容については、偉人について深く考える内容や、有名な物語文などが多く、生徒の興味を引く工夫がされている。 ・4技能5領域が、教科書の構成の中にバランスよく無理なく構成されている。 ・生徒に異なる情報を与え、ペアワークにおけるインフォメーションギャップを作り出すことのできる「ロールプレイシート」が付属している。 ・文法事項については整理、理解しやすい書き方になっているため、slow learnerには合っており、トピックも話題性に秀でている。 ・視覚的には太字が多くわかりやすいが、本文以外の文字が小さいので読みにくい。 ・スピーキングの部分が少ないため、表現力を伸ばす機会を別に設ける必要がある。 ・1年・未来、2年・現在完了は難しい。
-------------------	-------------------------------------	---	--

<p style="text-align: center;">17 教出</p>	<p>英語 704 英語 804 英語 904</p>	<p>ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自国の文化や歴史的な出来事と他国との関係をリンクさせた話題が多く、生徒が興味・関心を持ちやすい内容となっている。 ・ 日常生活に関わる内容から、持続可能な世界を目指した地球規模の話題まで、様々なテーマを扱っており、内容にも工夫が感じられる。 ・ 「Activities Plus」は新学習指導要領で新たに追加された5つ目の領域、「話すこと[やり取り]」の力を引き出すために、普段の授業の帯活動として継続的に活用できる。 ・ 「Project」のページでは、既習事項を活かし、5領域を総合的に活用して課題解決に取り組む活動が設定されている。(1年 P120～121) ・ Lesson ごとの「Review/Grammar/ふり返ろう」で理解の確認ができるように工夫されている。 ・ 1年生での過去形導入、未来形は難しい。 ・ 1年生初期の内容は、比較的文章が長く、レイアウトも見づらいため、苦手意識を持ちやすい。 ・ 文法的なポイントが見にくいように思われる。 ・ 英語が得意な生徒には手ごたえのある教材が多いが、練習問題はシンプルすぎて物足りなさを感じる。
--	-------------------------------------	---	---

<p style="text-align: center;">38 光村</p>	<p>英語 705 英語 805 英語 905</p>	<p>Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の小中接続期教材で、1年生当初に必要なクラスルームイングリッシュや月名、数字など扱う設定があり、小学校での既習内容の接続がしやすい。 ・イラスト、本文、単語等の配置がシンプルで全体的にすっきりとして見やすい。 ・基本本文が書かれている位置がわかりづらく、全体的に文字が小さい。 ・巻末の CAN・DO リストに5領域ごとに技能目標が示されており、これらが教科書の教材とリンクしているため達成度を細かくチェックできる。 ・リスニングが豊富であるため、「聞く」力を伸ばしやすく、これに関連して「やり取り」のスキル向上にも活かせる。 ・各学年の最初の方に「英語の学び方ガイド」が記載してある。特に1年生にとっては、「なぜ英語を学ぶのか」や、「小学校と中学校の英語の違いは？」など、中学校の英語学習にスムーズに入っていけるようなしくみがあってよい。3年生では、「英語を日常生活に活かすこととテスト勉強の関係」や、「既習の単語や文法などが増えてきて不安」など、発達段階に応じて、生徒に寄り添った内容のトピックがあげられている。 ・「3年間ひと続きのストーリー」は全体的に会話文が多く、生徒の学びへのモチベーションを高めにくい。 ・物語が中心で、内容に深まりが持てなさそうであるし、比較的ワールドワイドな話題が少ないため、英語を通して国際理解を深められる機会が少ない。 ・基本本文が書かれている位置が見開きの右下なので、重要事項を確認しにくい。
--	-------------------------------------	---	---

<p>6 1 啓林館</p>	<p>英語 706 英語 806 英語 906</p>	<p>BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生当初に、必要なクラスルームイングリッシュや月名、数字などを扱う設定であり、小学校での既習内容の接続がしやすい。イラストを大きく掲載しているの、アルファベットに苦手意識のある生徒が取り組みやすい内容になっている。 ・ 災害に関する内容(地震発生時の行動や防災用品)について、英作文やスピーチをする活動が入っている。実生活の中で考えていかなければならないテーマなので、自分の考えをまとめやすく、スピーチの題材として適していると思われる。 ・ 兵庫県に関する題材が扱われていない。 ・ 本文の主な形式に対話文やインタビュー形式が多い。 ・ ペアやグループでの活動が多く設けられているので、主体的・対話的で深い学びの実践が行いやすい。 ・ 発達段階に応じ、2・3年では、「Speak」や「Write」の活動が多く設定されている。 ・ 「Target のまとめ」で文法事項がすっきりとまとめられているため、復習がしやすい。説明もわかりやすいので、英語が苦手な生徒にとっても家庭学習などに活用しやすい。 ・ イラスト、本文、単語等の配置がシンプルで見やすい。言語活動やコミュニケーションを行う状況設定も目的が明確で生徒の活動がスムーズに行える内容である。 ・ 構成がシンプルでスッキリとして見やすいが、ひとつひとつの文章量が少なく、文字が少し小さいため文が読みにくい。
--------------------	-------------------------------------	--	---